

「M情報」活動企画運営団体
 救う会大阪 NO!民主桜組
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 大阪の公教育を考える会
 スパイ防止法の制定を求める会
 外国人参政権に反対する会・関西
 日教組の違法行為を自及する市民の会
 竹島を奪還する会・関西
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT



No. 111
 【発行・編集】
 MASUKI 情報デスク
 増木直美
 大阪府吹田市古江台 2-10-13
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
 mid@jewel.ocn.ne.jp

不良外国人は 靖国に近づくな

台湾立法院議員高金素梅再来日阻止成功!

台湾立法院議員高金素梅が、8月14日、永田町で開催される「平和の灯をヤスクニの闇へ キャンドル行動 植民地支配とヤスクニ」という集会に出席するため来日するという情報をキャッチしました。我々の迎撃体制は準備万端。急遽「高金素梅に日本の土は二度と踏ませない」国民大集会Ⅱを8月1日、文京区民センターで開催し、湯澤八代宮司を始め土屋、吉田両都議、穴倉千葉市議、大西町田市議等多くの平成の特攻隊が参集しました。

また、靖国会が中心となり自警団(团长永田壮一靖国会事務局次長)を編成。不良外国人は一步も通さぬ覚悟で待ち受けました。自警団の方針は明快そのもの。不良外人が反日ブラカドを出し写真を撮られたらそれは我々の敗北。カメラを取り上げ破壊する。そして20日間お泊りを覚悟。

沼山氏は「顔の皮が3回剥けて、面の皮が厚くなった」と笑っていました。さらに高金素梅刑事告発代理人徳永信一弁護士は麹町警察署に数回足を運び、鋭意捜査するよう強く求めました。その甲斐あって、8月10日頃、「高金素梅は南京市の会合に出席するから日本にはいけない。」旨の発表がありました。日本世論の会三輪会長は「八つ裂きにしてくれる」と腕まくりをし息巻いていましたが残念かな今回の来日はなさそうです。

我々の力がひとつになって、『阻止!』という結果が出せました。大変喜ばしくトラトラトラ! には間違い無いのですが、「今のところ阻止できている」と言うだけで、彼らはゲリラ的に、またいつくるかわかりません。油断も隙もない連中です。対抗策はただひとつ。お時間が許す限り靖国に参拜してください。閣僚の代わりに。「高金素梅に日本の土は二度と踏ませない国民大集会Ⅱ」実行委員会

私たちは高金素梅を許さない~~~~! 靖国を護れ~~~~!
 音頭は増木が取らせていただきました。



《高金素梅靖国狼藉事件》
 平成21年8月11日、台湾の立法委員高金素梅が男女約50名を率い、靖国神社境内で「靖国NO!」等と連呼し費銭箱を土足でまたぎ、駆けつけた神社職員に傷害を負わせ等の狼藉を働いた事件。私たちは彼女を、礼拝所不敬罪(刑法188条1項)等で刑事告発。

「高金素梅に日本の土は二度と踏ませない」国民大集会Ⅱ 8月1日 文京区民センター

大東亜戦争停戦の日

8月15日 大東亜戦

同時にその家族の悲しみもあった。

争停戦の日前後のテレビを見て驚いた。わが国政府、わが軍のみが「殺人」を犯したかのような報道だ。いわゆる「東京裁判」でアメリカ人弁護士は何と主張しているか。「戦争において殺人は合法である」と。

戦闘行為における殺人行為が「違法」なら、今、流行の坂本龍馬は人を殺して

いないか。作戦を「謀議」していないか。NHK大河ドラマで定番の戦国武将、例えば徳川家康は、豊臣秀吉との誓詞(約束)を破っていないか。謀略をめぐるせて、殺人を犯し、戦を仕掛けていないか。歴史の本を少しでも読んだ者は、古から戦があることを知っている。「殺人」をして、非難するのは「平時」のことであり、国際法上、陸戦法規上、「殺人」は何ら問題はない。これは何も、わが国に限ったことではない。アメリカでも同様。シルバースター勲章を賜る。

国民の生活が犠牲になったと言う。では、日清、日露の戦役で国家のために戦った者がいなければわが国はどうなっていたか。欧米列強の植民地になっていた。植民地になって、国民の安寧は図られたか。答えは、終戦後の日本を見れば分かる。朝鮮人が「戦勝国民だ」と称して、どれだけの乱暴狼藉を働いたか、産経新聞「正論」に詳しく載っている。強姦が多発しても、取り締まることも出来ない。それでも、「負けて良かった」と言えるのか。

戦時下、アメリカでも、イギリスでも、ドイツでも、どこでも戦死者はあった。

それを殊更に強調して、戦争は悲劇だと描く。では、日露戦争・203高地で戦死した英霊は無駄死にか。日本を勝利に導き、インドのガンジーは、初めて、黄色人種が白人人種に勝利したと賞賛している。それを全く無視をしている。

国民的英雄の赤穂浪士。浪士が討ち入った、吉良家の家中に別に責任があるわけではない。家族もある。そして、討ち入った浪士の家族も、女郎になり、悲劇的な最後を遂げた者も多い。だからと言って、赤穂浪士の行為が「好戦的」だと非難されるか。「木を見て、森を見ない」と言うことばがある。

YP体制。つまり、ヤルタポツダム体制の下に、わが日本はいまだに「占領下にある」と言える。講和発効の時に、「占領軍の遺物の整理」をしておかなかったから、こうなるのだ。

主体性、国家で言えば「主権意識」が欠落している。共産主義は、形を変えて、さまざまな手法で、この国を「卑しめる」行為を繰り返す。そのことで、国民の知らぬままに、革命をすすめる。民主党に巣を食う、共産主義者がそのいい例だ。

わが国は島国だから、元寇と先の大戦以外、侵略を受けていない。その点独逸など、国民挙げてヒトラーを支持したくせに責任を全てNSDAPにかぶせてしまっている。己の人生を振り返って見たらいい。順風満帆の人もあるだろうが、そうでない人の方が多し。その苦難の時期のみを回想すれば大変な人生だったと言うことになる。

【ヤルタポツダム体制】を打破しよう！

東京都議会議員 土屋 敬之

しかしそのような後ろ向きな人生観を持った人間はいないだろう。大変だったが頑張った。それが人生だ。国家も同様ではないか。

国を挙げての戦いに、女学生まで勤労奉仕をし、グラマンヘルキヤットの銃撃を受けて死んでいった。アメリカ兵は、神風に恐怖し、精神的に異常をきたした。沖繩では軍民挙げて戦った。ニミッツ提督は「殺せ！殺せ！シヤップを殺せ！」と言っていた。その提督が、ペリユリユー島での日本軍の英雄的戦闘に敬意を表して、今、わが軍を称える石碑がある。これも「東京裁判」での話だが、戦争は一国で戦えるものではない。当然だ。

この日本を戦争に追い込んだのは誰か。わが国が南部仏印(今のベトナム)に進駐した。テレビではいかにも、戦線を拡大したように解説しているが、浅学非才とはこのことで、アメリカは、仏印に蔴援ルート(国民党を支援するルート)を持ち、アメリカ兵が国民党兵になりすまして、戦闘機に搭乗していた。これは明確に陸戦法規違反行為だ。また、物資も送っていた。当然そのルートを遮断する必要がある。

だから、南部仏印進駐があったのだ。(そもそも「仏印」とは「フランス領インドシナ」のこと。何のことはない、フランスの植民地ではないか。では、何故、フランスがこの地を植民地としているのか、「侵略政策」だと言わないのか。)それを「敢えて」テレビは言わない。こゝでも、ヤルタポツダム体制(日本を無力化する)が生きている。

一体、この国とはどんな国なのか。日本ではなかったのか。以前、自虐史観で有名な展示館を視察に行ったが、そこに掲げられているのは「戦争を恨んでいる」遺書だ。斜めに構えている。館長に「あらかたの兵士は、こんな遺書を残していない」と言ったところ、「こう言う人もいたと言ったことです」と返事が返ってきた。「では、例外的な遺書を展示しているのか」と反論したら、答えは「・・・」つまり、思想のコントロールなのだ。勇壮な遺書ではマインドコントロールにならない。だから、「例外」を掲げ、そこを見学に来た、知識がない児童、生徒に、多くの人が、このような遺書を書いたと「思わせる」ような構成になっている。悪辣とはこのことだ。

これと同じことをテレビはしている。それに対して、「通信委員会」で、質疑がない。NHK予算はここで審議がある。民放の放送免許も許可制だ。何故、国会は審議をしないか。理解が出来ない。

「皇軍兵士を大死」扱いにしているのは、こうした輩だ。先ほど、浅学非才と書いたが、それもあろうが、曲学阿世(学問を曲げて、世の中を惑わす)だ。

国民も政治家も世界の常識を知らなければならぬ。政治は昔の「風穴ロドリ」ではない。バカの壁とはこのことを言う。北京とソウルは笑いが止まらないだろう。

NO! 民主・桜組の活動報告

新党乱立の参院選

松谷祐子 (桜組副代表)

新党が乱立した参院選であった。新党はみな、「反民主」、「非自民」を掲げて、これまでの選挙戦とはまったく違った様相を呈していたのだが、菅総理が漏らした「消費税10%引き上げ構想」が選挙の争点となつてしまい、我々が反対運動を展開している「外国人地方参政権付与」をはじめとする亡国法案の数々は、大きく取り上げられることなく、選挙戦は終わった。菅はそれらの亡国法案隠しを狙って、消費税発言をしたに違いない。

国民にとっては切実な問題となる消費税の引き上げだが、昨今の財政状況からして、大多数の国民は「消費税引き上げ無くして、社会保障の拡充はありえない。」と考えているだろうから、狡猾いことでは定評がある菅直人としては、ある程度のリスクを覚悟のうえで、亡国法案上程、成立を熟考しての発言だったのではないかと思う。

よくよく考えれば、参議院で負けても民主党は与党で在り続けることができるし、参院否決の法案も衆院で再可決できるのだから、秘密裏に亡国法案を推進させるための「作戦」であると考えねばならない。

民潭との約束で、何としても早期に実現させねばならない地方参政権法案である。裏技、ひねり技、猫騙し、国民を欺くためには何でもやる、こんな姑息な手段を使っても、民潭との約束を履行するのが民主党の特徴である。ルーピー鳩山

からスリーピー菅に首相が交代して、この特徴は尚、はつきりと明確になりつつある。

副総理、財務大臣という重責にありながら、前政権の責めを負うことなく、何食わぬ顔で総理に就任している「厚顔無恥」な菅直人は、小沢一郎に匹敵する強者である。元来お人好しである谷垣総裁が、立ち打ちできる相手ではない。また、各新党の代表の顔ぶれを見ても到底、期待はできない。

民主党菅政権を打倒するために、我が陣営が担がねばならない政治家は、批判を覚悟で、あえて言おう。

それは、小沢一郎である。小沢以外に極左のプロ菅直人を倒せる人がいるのか。

我々は政治に高い理想を掲げ、祖国日本の名誉と誇りを護るため、志高い愛国者、清廉潔白な政治家を支援したいのはやまやまでであるが、かかる緊急事態に直面している現在、まず片付けねばならないのは、政権中枢に居座る菅直人を中心とした「社会主義国家構築メンバー」である。

民主党内からこれらの勢力を孤立させることが出来たら、亡国法案の実現を失速させ、健全とは言えないが、ここ数年(解散総選挙まで)の政権なら、憂慮しながらでも担わせておけるかも知れない。

シューキンペイ謁見の際、天皇陛下に対し奉り、畏れを知らぬ小沢一郎の態度は、到底許せるものではないが、ただ毛嫌いするだけでなく、政界再編のひとつのコマとして、小沢一郎を取り扱うべしという戦略性を持つことは必要である。

乗合バス旅行記 西川昇男 (岡山)

昔「大東亜共栄圏号」という飛行機に乗っていたら、アメリカの戦闘機に攻撃されて不時着した。命からがら脱出して隠れていると「一億総懺悔号」という満員の木炭バスが来て、運良くそれに拾って貰って暫く行くと「所得倍増号」というボンネットバスが発車間際だったので、それに割り込んだ。それから後も色々な乗合自動車に乗り換えて旅を続けたが、その度に車体も近代化され綺麗になって来たし、運転手はそれなりの技量の持ち主で自分の運転に自信を持っていて、僅かなミス指摘されても潔く交代してきた。やがて乗客達は、外の景色には目もくれないでビールを飲んで騒いだり、美人ガイドさんを冷やかしたりしてその快楽を楽しむばかりになって来た。そんな間に運転手も高齢化したのか



平成22年8月7日 ヒゲの隊長佐藤正久参議院議員、大阪市会のマドンナ(?)辻淳子市議員と 大阪市淀川区、百人の会総会にて

道に迷ったりし始めた。それに気付いた乗客達が、そんな運転手に不安を持ち始めた頃に定時の運転手交代があった。そこで運転手要員として登場したのが従来の会社の年輩の運転手と、別の会社の若くてハンサムで口の達者な運転手の二人だった。他にも見るからに頼りない運転手も居るには居たが、選択を任されている乗客は圧倒的多数で、その若い運転手を選んで彼の運転身を任せる事になった。

運転を交代したその若い運転手は、決められたコースに無かった新しい観光地へ寄ったり、弁舌巧みに乗客に話しかけたりしてきたので、乗客は「やはり若い人の方が良かった」と満足し、彼の運転を信頼して身を任せる気になっていた。

所が運転を始めて間なしに乗客たちは、彼の運転が急加速したり急ブレーキでつんのめったりしても、それに気づかぬふりをして平気で運転を続ける荒さに気付き始めた。そして乗客が「次の目的地は?」と尋ねても明確に返答もせず、地理に詳しくないので道に迷ったり狭い道を走り始めたり、拳句の果ては断崖絶壁の一本道に入り込んでしまつて、引き返しも出来ない状況になってしまった。堪りかねた乗客が彼の運転免許証を確認して驚いた。「大型二種」ではなく何と「若葉マーク」だったのだ。驚いた乗客は運転手の交代を求めるが、生憎そこは道が狭くて人の乗り降りも儘ならない状況にあった。それに悪い事に、この道はあと3、4キロメートルも続くと言っただ。進退極まった筈の新米運転手は、それでも悪びれもせず乗客の中の有資格者と交代しようともせずに運転席に居座って運転を続ける気らしい。

乗客の皆さん、こんな立場に追い込まれたら一体どうすれば良いでしょうか?

救う会大阪の活動報告

金賢姫来日に見る日韓関係と菅政権の拉致問題への対応「思う」。

7月23日、金賢姫元工作員が来した。田口八重子さんのご子息、そして拉致事件のシンボルの存在である横田めぐみさんのご両親とも会談を持ったが、拉致被害者の救出につながるような、有力な証言はなかったようだ。

傍目で見ると、単なるイベントのように思える。

「拉致事件を忘れてはいるわけではない。ちゃんと仕事をしているので、そのところよろしく」とばかり、歴代政府が定期的に行ってきた、家族会や救出運動に携わっている者達に対する言い訳程度の演出と言っても過言ではない。

これら一連の、まるで親心を弄ぶかのような政府の対応に、私は激しい怒りを感じてきた一人である。

しかしながら、横田さんご夫婦のコメントから、微々たることでも進展と捉え、今後の展開を期待する気持ちには理解できる。長年に渡って、筆舌尽し難い悲しみや苦しみを味わってこられたのだから、それは当然のことである。

今回の金賢姫来日を全否定するつもりはないが政府は一体、何を考えているのだろうか、疑念を抱いてしまう私である。

23年前の大韓航空機爆破事件の実行犯であった金元工作員であるが、その後の彼女の身の処し方を見ていると、めぐみさん達の消息に通じているとは、到底思えない。

工作員教育を受けている時に知り得た情報を聞き出すために、わざわざ来日させたとしたら、それは極めて不自然である。何かにつけて親韓、媚韓姿勢の民主党政権であるゆえ、韓国政府と何らかの裏取引があったのではないかと、つい疑ってしまふ。中井拉致問題担当大臣は、もったいぶったような態度で記者の質問に回答していたが、己が立場を顧ることなく、若いホステスと路上でいちゃつき、議員宿舎にまで連れ込んでいた実態を知る国民から、高い評価を得ることはないだろう。

公式には国交の無い北朝鮮との交渉は、政府関係者にしか出来ないわけであるから、家族会の皆さんが政府を頼りにされることは当然であるが、拉致事件の全貌解明、被害者の全員救出、実行犯の引渡しを訴えてきた我々は、これまでの政府の不可解な対応から、その魂胆を見抜いている。政府は北朝鮮との国交回復のため、拉致問題を扱ってきたのだ。国交回復への大きなハードルとなったのが拉致事件で、国民世論に押された形で、へつり腰でも取り組まざるを得なかったのが実情であろう。

歴代政府には、何が何でも拉致された日本人を取り戻すという覚悟がなかったし、特に現政権は、総理からして実行犯であったシンガンスを自由の身にするための「協力」をしているのだ。菅総理は「あれは、何も知らずに署名しただけ。」と言い訳を繰り返すが、署名簿に記名する以前に、そんな運動をしている団体と交流を持っていたこと自体が、一国会議員として大問題である。

靖国の御霊に感謝する会

「靖国会」の末弟として

「靖国の御霊に感謝する会」...このの起りは8月1日「高金素梅に日本の土は二度と踏ませない」国民大集会Ⅱ、さらに4月4日の同国民大集会Ⅰ。このとき私たちは考えました。何故このように不良外人が靖国で狼藉を働くのか。それは我々、当事者である日本人が靖国を大事に思はないから。思う気持ちが希薄だから。事(高金素梅狼藉事件)が起きてから「たいへんだたいへんだ」と騒ぐのではなく、平日頃の心がけが大事ではないでしょうか。

我々日本人が靖国を何よりも大事に思っているということを内外にアピールする。そうすれば、そのような靖国で狼藉を働けば、日本世論の会の三輪会長の言葉を借りれば「八つ裂きにしてくれる」、八つ裂きにされると思えば不良外国人は来ないでしょう。彼女らはわれら日本を舐めきっている。その原因は我々日本人にあると思うのです。政府の対応が一番大事な事
 ~~~~~  
 竹島占領を黙認し、慰安婦や教科書問題は言うに及ばず、戦後補償の蒸し返しまで画策する民主党菅政権のもと、韓国政府内に放たれた北の工作員の策略に乗り、「家族会の理解を得て、拉致問題はほぼ解決。」などと言い出すことがないように、我々は今後  
 ~~~~~  
 も尚一層、警戒の目を強めねばならない。

拉致被害者救出運動に関わってきた者は皆、いの一歩に警戒せねばならないのは北朝鮮ではなく、「日本政府」であることを身に染みる程、理解している。
 救う会大阪 幹事 松谷祐子(三重)

とは言うまでもありませんが、嫌な政権にいくら言っても埒が明かない。そこで民間として何が出来るか。文字通り、「靖国の御霊に感謝する会」がいつばいでき各々のスタイルで活発に活動するのがまず第一歩ではないでしょうか。私たちは「靖国会」の末弟として、「靖国」という略字を使用し、特に靖国無関心層の啓蒙に力を入れた運動をやっていかうと今回2回の集会を機に決めました。

「靖国会」事務局次長の小川慎太郎君を代表とし、年1〜2回全国から靖国に集合し、私たちは「靖国の御霊に感謝しているんだ」と訴えてまいりたいと思います。
 ~~~~~



平成22年8月1日 靖国神社拝殿前

# 仲間達から活動報告

再臨のキリストー私は神ではあ  
ませんが日本の危機」 阿部道子

私は、イエス・キリストのような神ではありません。平凡な普通の女性で、勤まなざしい身ですが、日本の主権を守り、回復を目指し日本国家を救うために、万物の創造主である天の神より、つかわされたものです。今反日偏向メディアは日本国民に真相を伝えておりません。伝えられるのは産経新聞くらいです。日本国民が日本や中国・韓国北朝鮮の事実を上手に隠され、国民に知らされないまま、国民主権による多数決投票をすることは「民主主義国家にとって大変な危機」です。まして今、推進しようとしている外国人参政権は憲法違反です。

64年前の、たった一度の大東亜戦争敗戦で、戦後共産党により、日本は悪かったと愛国心を奪われ自虐心を着々と植えられました。国旗・国歌、日本の国体天皇、靖国神社参拝、そして大切な教育、国防も永い間に日教組・民団、在日韓国人とついに歪められ、日本侵略に工作されてきました。今、この参議院選が日本崩壊の危機といわれております。日本列島は国は分断され、自治区として日本は中国共産党の属国になろうとしております。しかし日本人の多くは、洗脳され今でもこの崩壊の危険を気がついておりません。周りに中国人、韓国人スパイ工作員も沢山来ておりますのに、おかしいとは思いませんか？ 7月1日に中国では「国防動員法が発令

されました。非常に恐ろしい法です。また日本でも、同日、中国人ビザの発行が更に緩和され、日本に容易くなりました。同日に、日本の国会は大事な予算案や口蹄疫病が未だ終息していませんでしたが、ボロが出ないうちに通常国会は多くの反対を押しつけて強引に閉会されました。独裁政治です。

この7月11日(日曜日)には参議院選挙が行われます。日本の国益、生命・財産、国土、安全保障が守られないように日毎侵略の準備がなされ日本国憲法にも違反しております。

今回の「子ども手当」も綺麗な言葉に国民は騙され、世界へのばら撒きで、私達の税金は日本よりも世界にばらまかれました。日本は多額の借金国になり国家破綻します。まるで無茶で直しの反対をしております。未来の日本の子どもは永遠の負債の重荷を負わされて世界に仕えます。日本国を中国、韓国、北朝鮮に移譲させようとしています。日本を奴隷のように仕えることになりま。先ず地域主権を煽り先祖伝来の国体を潰そうとしております。

「外国人地方参政権」、「夫婦別姓」、「人権侵害救済法」などは、マニフェストに書かれず、隠されて選挙が進められております。戦後最大の危機で日本を守りたいと警告し、街宣やデモも幾度もしてきましたが、NHKを初メディアは、このことを報道せず不公平です。メディアは平気で反日工作の捏造さえしています。日本国家は紀元前16000年前の縄文文化からも高度の和の社会に育まれてきました。日本の

文明や先祖の残した田畑、水、稲作、和の共同体、人への思いやり、文字、織物は世界最古のもので、中国より遙かに振るいのです。中国は兄、韓国は姉という概念を日本人は捨て去ることです。中国や、韓国、北朝鮮では反日政策、反日工作を行っております。強制慰安婦問題や南京虐殺資料館も歴史教育も捏造されたものです。

世界でも日本の偉人伝は沢山あります。私はモラロジーでもネットでも学ばせていただきました。概して徳があり人々の暮らしは平等で慎ましく秩序あり、美しい理想国の物語として世界から高い評価を受けております。今の天皇制も最古で貴重です。16000年前の縄文文化等この恩恵と誇りは日本人だけではなく世界の誇りです。私達の代でこれを終わらせることは創造主である天の神の意図ではありません。今を、何とか切り抜けて、より高い文明に平和と国防に導くよう、全ての人々の救済史です(信仰の自由)。日本は大自然と共に永い

間調和し生成化育し大和心をもって生きてきました。この大自然には神の霊が満ち満ちておりこれは宇宙法則でもあります。ここに辿り付いたユダヤ人とは同じ神を持つております大自然には陰陽の相反する両極がありこれにより生成化育されこれが宇宙の大霊です。日本とユダヤとはそして力ルト以外の宗教は同じ神を持ち光の子として特に何教の布教ということではなく皆愛の対象とされております。海に囲まれ四季に恵まれた日本列島は、子供のころから、日の丸国旗、いろは歌と共に大そう貴重でした。大きな目的と今の試練は愛国心と国防を忘れた、我々島国で守られてきた怠慢でもあります。一瞬にして破壊するテロ工作には私達は永遠に平和を守る為の国防

と、常に目を覚ましこれに向かうことです。一步一步平和を築き上げることも大切だが、一瞬にして破壊する、少人数のテロにも警戒するように丸の内三菱ビル、テロ爆破事件の時警告の啓示がありました。今上映を騒がれている映画「ザ・コーヴ」のような映像テロもあります。朝日新聞は永い間テロのように反日報道をしてきました。毎日新聞の英字記事もネッソウがなされてきました。珊瑚に文字を朝日がワザといたずら書いて、日本人の徳の無さを記事にしました。この犯罪が見つかり謝罪しましたが日本を売国のようにしております。宗教を越えて日本国民として互いに勇気を持ち戦って参りましょう。

「はやぶさ」の快挙。60億キロを7年掛けて旅してきました。たまたまTVで見たのですが、「はやぶさ」のイオンエンジンのパワーはどの程度かご存知ですか。1円玉を浮かせることができる程度だそうです。トンボでもちよつとでかいやつならその程度の力はあるでしょう。一旦宇宙へ出てしまえばトンボほどの力でも7年間がんばれば60億キロの旅ができるのだ。「持続」、「継続」、「壊れない」。瞬発力ではないのだ。これは資源のない我が国の知恵ではないだろうか。「はやぶさ」に心があつたら、とれだけ心細かつたか。孤独に耐えること。当に市民(政治)運動そのものではないでしょうか。心が「壊れた」ら運動は負けだ。騒ぐだけでは何の意味もないのだ。増木重夫

# 盟友、大内氏が在庫一掃セール

## 活動資金へ協力をお願い

#####

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは「国を破壊しよう」と思っている連中」と日々命がけて戦っています。ところが問題は活動資金。子供達に誇りある国を残すため今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願い申し上げます。

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっていますが、「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願いいたします。

○ カンパ金の主な用途は左記団体の活動の企画運営費です。

### 【ご支援等の口座】

郵便振替 006600 824564 MASUKI 情報デスク  
三菱東京UFJ銀行 中野支店 0044399 普通 増全量夫

○ M情報が活動の企画運営を行っている主な団体

- ・ 活動の広報、資料等の発送費
- ・ 道路公園使用申請料等
- ・ 活動のための交通費、通信費
- ・ 資料、横断幕、チラシ等の制作費
- ・ 備品購入費
- ・ 靖国神社に眠る御霊に感謝する会
- ・ 救う会大阪
- ・ 米国に原爆投下謝罪を求める会
- ・ 大阪の公教育を考える会
- ・ スパイ防止法の制定を求める会
- ・ 外国人参政権に反対する会
- ・ 関西日教組の違法行為を追及する市民の会
- ・ NO! 民主「桜組」
- ・ 竹島を奪還する会
- ・ 関西

# 盟友、大内氏が在庫一掃セール

## きまぐれ書房

E-mail: SNC44023@nifty.com

〒136-0074 江東区東砂八一七一五

TEL 〇八〇(五六九五)一八六八

FAX 〇三(三六四四)一八六八

送料別途・消費税不要

ご注文は  
葉書かFAX  
メールで  
抽選

|         |         |             |      |            |        |        |         |             |        |         |        |           |           |          |       |            |          |       |         |            |      |      |      |      |      |        |      |
|---------|---------|-------------|------|------------|--------|--------|---------|-------------|--------|---------|--------|-----------|-----------|----------|-------|------------|----------|-------|---------|------------|------|------|------|------|------|--------|------|
| 27      | 26      | 25          | 24   | 23         | 22     | 21     | 20      | 19          | 18     | 17      | 16     | 15        | 14        | 13       | 12    | 11         | 10       | 9     | 8       | 7          | 6    | 5    | 4    | 3    | 2    | 1      |      |
| 死人覚え書   | 純粋精神の系譜 | アルチュール・ランボー | 小林秀雄 | 評伝アンドレ・マルロ | 血と砂と祈り | 西欧との対決 | 死の日本文學史 | 評伝ポール・ヴァレリー | 巻頭随筆   | 哲学からの考察 | 時代と私   | 自分不在の防衛論議 | 人間不在の防衛論議 | 知る事と行ふ事と | 現代の悪魔 | 日本の思う1人と思想 | 白鳥・宣長・言葉 | 真贋    | 考えるヒント2 | 地獄の季節ランボオ作 | 小林秀雄 | 小林秀雄 | 小林秀雄 | 小林秀雄 | 小林秀雄 | 本居宣長補記 | 本居宣長 |
| 追憶の原口統三 | 橋本一明    | 橋本一明        | 江藤淳  | 村松剛        | 中東の現代史 | 村松剛    | 村松剛     | 村松剛         | 田中美知太郎 | 田中美知太郎  | 田中美知太郎 | 田中美知太郎    | 田中美知太郎    | 福田恆存     | 福田恆存  | 福田恆存       | 小林秀雄     | 小林秀雄  | 小林秀雄    | 小林秀雄       | 小林秀雄 | 小林秀雄 | 小林秀雄 | 小林秀雄 | 小林秀雄 | 小林秀雄   | 小林秀雄 |
| 河出書房新社  | 河出書房新社  | 小沢書店        | 講談社  | 中公文庫       | 中公文庫   | 新潮社    | 新潮社     | 筑摩書房        | 文藝春秋   | 岩波書店    | 文藝春秋   | 文藝春秋新社    | 新潮社       | 新潮社      | 新潮社   | 新潮社        | 文藝春秋     | 世界文化社 | 文藝春秋    | 岩波書店       | 講談社  | 文藝春秋 | 新潮社  | 講談社  | 新潮社  | 新潮社    |      |
| 昭51     | 昭71     | 昭60         | 昭61  | 昭89        | 昭62    | 平6     | 昭50     | 昭68         | 昭53    | 昭86     | 昭46    | 昭40       | 昭55       | 昭51      | 昭37   | 昭44        | 昭58      | 昭20   | 昭49     | 昭83        | 昭96  | 昭47  | 昭54  | 昭41  | 昭57  | 昭52    |      |
| 三〇〇〇    | 三〇〇〇    | 三〇〇〇        | 四〇〇〇 | 一〇〇〇       | 一〇〇〇   | 二〇〇〇   | 二〇〇〇    | 三〇〇〇        | 二〇〇〇   | 四〇〇〇    | 二〇〇〇   | 三〇〇〇      | 二〇〇〇      | 二〇〇〇     | 二〇〇〇  | 三〇〇〇       | 四〇〇〇     | 三〇〇〇  | 二〇〇〇    | 二〇〇〇       | 二〇〇〇 | 二〇〇〇 | 三〇〇〇 | 三〇〇〇 | 三〇〇〇 | 八〇〇〇   |      |

|       |       |        |       |          |         |      |          |           |        |         |         |         |       |       |          |        |          |       |
|-------|-------|--------|-------|----------|---------|------|----------|-----------|--------|---------|---------|---------|-------|-------|----------|--------|----------|-------|
| 28    | 29    | 30     | 31    | 32       | 33      | 34   | 35       | 36        | 37     | 38      | 39      | 40      | 41    | 42    | 43       | 44     | 45       | 46    |
| 抒情の前後 | 太陽に酔う | 詩人伊東静雄 | 本居宣長  | 詩の自覚の歴史  | いのちとかたち | 中原中也 | 評伝 三島由紀夫 | 伝記のなかのエロス | 鎮魂戦艦大和 | 戦中派の生死観 | 散華の世代から | 小林秀雄の流儀 | 牧攻の思想 | 仏陀を買う | 三島由紀夫対談集 | バトスの神話 | 小林秀雄の思ひ出 | 柳生刺客状 |
| 清岡卓行  | 清岡卓行  | 小高根二郎  | 吉川幸次郎 | 遠き世の詩人たち | 山本健吉    | 大岡昇平 | 佐伯彰一     | 佐伯彰一      | 吉田満    | 吉田満     | 吉田満     | 山本七平    | 草柳大蔵  | 近藤紘一  | 源泉の感情    | 磯田光一   | 郡司勝義     | 隆慶一郎  |
| 新潮社   | 講談社   | 新潮社    | 筑摩書房  | 新潮社      | 新潮社     | 角川書店 | 新潮社      | 筑摩書房      | 講談社    | 文藝春秋    | 北洋社     | 新潮社     | 文藝春秋  | 中央公論社 | 河出書房新社   | 徳間書店   | 文藝春秋     | 講談社   |
| 昭45   | 昭02   | 昭46    | 昭52   | 昭54      | 昭56     | 昭49  | 昭78      | 昭49       | 昭55    | 昭51     | 昭61     | 昭47     | 昭61   | 昭45   | 昭43      | 昭93    | 昭90      | 昭90   |
| 二〇〇〇  | 三〇〇〇  | 二〇〇〇   | 三〇〇〇  | 四〇〇〇     | 三〇〇〇    | 三〇〇〇 | 三〇〇〇     | 三〇〇〇      | 三〇〇〇   | 二〇〇〇    | 二〇〇〇    | 二〇〇〇    | 二〇〇〇  | 二〇〇〇  | 三〇〇〇     | 三〇〇〇   | 三〇〇〇     | 二〇〇〇  |

### 活動資金ご協力をお願い

郵便振替 〇〇〇〇〇〇 〇 MASUKI 情報デスク  
三菱東京UFJ銀行千原支店 〇〇4349 普通 塚重夫

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは「国を破壊しよう」と思っている連中」と日々命がけて戦っています。ところが問題は活動資金。子供達に誇りある国を残すため今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっていただきますが、「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願ひいたします。

○ カンパ金の主な使途は左記団体の活動の企画運営費です。

・活動の広報、資料等の発送費 ・道路、公園使用申請料等 ・活動のための交通費、通信費 ・資料、横断幕、ヒラ等の制作費 ・備品購入費

○ M情報が活動の企画運営を行っている主な団体

- ・救う会大阪
- ・靖国神社に眠る御霊に感謝する会
- ・米国に原爆投下謝罪を求めると
- ・大阪の公教育を考える会
- ・スパイ防止法の制定を求める会
- ・外国人参政権に反対する会・関西
- ・日教組の違法行為を追及する市民の会
- ・NO! 民主「桜組」
- ・竹島を奪還する会・関西